



平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 チ ノ ー

代表者名 代表取締役社長執行役員

豊田 三喜男

(コード番号 6850 東証第 1 部)

問合せ先 執行役員経営管理本部長

兼社長室長 大森 一正

(TEL 03-3956-2115)

中期経営計画策定のお知らせ

この度 2021 年 3 月期までの中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 策定の背景と目指すべき方向性

当社グループを取り巻く経営環境は、IoT 社会の本格到来や厳しさを増す環境規制、エネルギー需要の構造変動、少子化・高齢化の進行などに伴い、今後とも大きく変化していくことが予想されます。

当社では、こうした外部環境の変化を新しい事業展開の好機と捉え、経営理念に基づいて掲げた 3 つの経営ビジョンの実現に向けて新たな中期経営計画を策定いたしました。本計画をスピード感をもって遂行していくことにより、さまざまなステークホルダーの期待にお応えできる企業グループとなることを目指します。

<経営理念>

チノーグループは、「特長・信頼・連帯」を軸に
計測・制御・監視技術の限界に挑戦し
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

<経営ビジョン>

- 温度ソリューションにおいて、グローバル・ナンバーワンを目指す
- 現場に密着したエンジニアリング活動を推進し、お客様に感動される企業を目指す
- すべてのステークホルダーを尊重し、企業価値の向上と持続的成長を目指す

2.概要

(1)計画期間：2018年4月～2021年3月（3年間）

(2)基本戦略

- ①成長戦略：新たな成長分野（半導体・電子部品、二次電池、先端素材、医療医薬管理等）に向けて、特長あるソリューションの開発と提供を進める
- ②競争戦略：事業セグメントごとに市場動向とお客様ニーズを見極めてミッションを定め、既存コア事業における競争力と収益力を強化する
- ③海外戦略：現地に根付いた経営体制の整備を進めるとともに、エリアごとの課題とニーズに即した市場開拓と地産地消化を展開する
- ④基盤戦略：人財、組織力、ガバナンスを中心に事業戦略の遂行を支える経営基盤の整備と強化を進める

(3)事業セグメント別重点施策

①計測制御機器

- ・ 個客対応マーケティングとマスカスタマイゼーション化の推進
- ・ 無線技術を活用したIoTソリューション機器の開発・提供
- ・ 市場動向に即応する柔軟な調達・生産管理体制の構築

②計装システム

- ・ 水素インフラ等先端技術関連装置の開発促進
- ・ お客様と協創する仕組みの高度化
- ・ コストマネジメントの強化による利益率の向上

③センサ

- ・ 放射温度計、熱画像計測装置および水分・厚み計のラインアップ強化
- ・ 高付加価値製品を中心とした成長市場向け温度センサの開発
- ・ 標準技術のブランド化と校正試験サービスの範囲拡大

3.数値目標（連結 最終年度）

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	2021年3月期 (中期計画)
売上高	18,569百万円	20,000百万円	24,000百万円
営業利益	566百万円	1,050百万円	1,700百万円
営業利益率	3.0%	5.2%	7.0%
海外売上高比率	19.7%	20.9%	25.0%

4.株主還元の考え方

当社グループは継続的な企業価値向上に向けて、獲得利益を「戦略的な事業投資」「財務健全性」「株主還元（配当等）」の3つへバランスよく配分する方針としており、株主の皆様への安定的な利益還元を重要な経営課題と位置づけています。

※将来に関する記述等についてのご注意

本資料における将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確実性を含んでいます。

以上